

## 平成23年度事業計画

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

団塊の世代が65歳に到達し始め、少子高齢化を伴う人口減少社会がより進むなか、活力ある地域社会を実現するには、高齢者が多様な形で社会の担い手として活躍することが益々期待されています。これに応えるためには、シルバー人材センターが地域における中核的な組織として事業の充実に努め、高齢者のニーズに応じた多様な就業機会の確保を図っていく必要があります。

日本経済は、平成20年秋のリーマン・ショックから徐々に立ち直り、生産や輸出の回復により、景気が緩やかに持ち直しつつありますが、雇用状況はなお厳しく、有効求人倍率も低水準となっており、市内の企業への影響も大きいものがあります。

平成22年度の当シルバー人材センターの契約金額は前年とほぼ同様ですが、ピーク時の約6割にとどまっており、単年度収支は昨年度に引き続き赤字となります。会員の就業機会の拡大を図るため、県の緊急雇用対策事業により昨年に引き続き就業機会開拓員を増員して就業開拓に努め、業務形態に応じて請負やシルバー派遣により受注拡大に取り組みます。

政府の行政刷新会議の更なる「事業仕分け」により補助金が大幅に削減され、本年度はさらに厳しい財政運営となるため、昨年度にも増して経費の削減に努めるとともに財源確保のための検討を進めます。

また、公益法人制度改革に伴う移行については、5月の総会において定款等を変更し、秋には認定申請を行い、公益社団法人への平成24年度からの移行に向けた取り組みを進めます

今後ともシルバーの原点である「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、健全な事業運営に努め、地域の発展に貢献してまいります。

具体的な計画として、

### 1. 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供

兵庫県シルバー人材センター協会をはじめ、関係機関と連携を図るとともに、他シルバーの状況など情報を収集し、会員への提供を行う。

また、シルバー人材センター事業について市民などへの啓発を図る。

- (1) 会報あここの発行（年4回発行）
- (2) 市広報あここのよる啓発（毎月）
- (3) リーフレット等の配布
- (4) ホームページの更新

## 2. 就業機会の拡大及び提供

- (1) 就業機会創出員、ホワイトカラー就業機会開発員、就業機会拡大推進員を配置し、事業所、家庭等の訪問をはじめ、地域内の就業情報を収集するとともに、団塊の世代の入会が本格化するに伴い就業先確保等の拡大に努める。
- (2) 就業基準に基づき、長期就業の是正、就業ローテーション等を実践することにより、就業機会の拡大を図るとともに就業相談を実施する。
- (3) 高齢者の就業に関する計画事業量は次のとおりとする。

### ・受託事業

(単位：人、千円)

職 種	民 間 事 業		公 共 事 業		計	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入	延人員	事業収入
技 術	300	2,300	100	500	400	2,800
技 能	7,200	49,200	900	13,000	8,100	62,200
事務整理	700	2,467	200	2,000	900	4,467
管理監視	9,400	65,900	3,000	18,500	12,400	84,400
折衝外交	1,700	2,800	-	-	1,700	2,800
一般作業	57,900	224,700	11,000	80,000	68,900	304,700
サービス	1,400	5,500	1,350	12,000	2,750	17,500
合 計	78,600	352,867	16,550	126,000	95,150	478,867

### ・派遣事業 (兵庫県シルバー人材センター協会赤穂市事務所) (単位：人、千円)

職 種	民 間 事 業		公 共 事 業		計	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入	延人員	事業収入
技 術	120	1,217	-	-	120	1,217
技 能	90	725	-	-	90	725
事務整理	-	-	-	-	-	-
管理監視	-	-	-	-	-	-
折衝外交	-	-	-	-	-	-
一般作業	1,440	12,374	240	2,067	1,680	14,441
サービス	-	-	-	-	-	-
合 計	1,650	14,316	240	2,067	1,890	16,383

### ・合 計

(単位：人、千円)

職 種	民 間 事 業		公 共 事 業		計	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入	延人員	事業収入
技 術	420	3,517	100	500	520	4,017
技 能	7,290	49,925	900	13,000	8,190	62,925
事務整理	700	2,467	200	2,000	900	4,467
管理監視	9,400	65,900	3,000	18,500	12,400	84,400
折衝外交	1,700	2,800	-	-	1,700	2,800
一般作業	59,340	237,074	11,240	82,067	70,580	319,141
サービス	1,400	5,500	1,350	12,000	2,750	17,500
合 計	80,250	367,183	16,790	128,067	97,040	495,250

### 3. 就業に必要な知識・技能の向上

会員の資質向上と技能習得を目指すため、必要に応じ講習会を実施する。

### 4. 会員の安全就業

会員の健康保持、安全基準遵守による就業事故防止及び交通事故防止に努め、「事故ゼロ運動」を継続展開する。

(1) 交通安全講習会の実施

(2) 就業前の機械器具の点検の励行

(3) 安全・適正就業委員会を中心とした就業先安全パトロールの実施

(4) 健康管理講習会の実施

### 5. 会員の親睦と組織体制の充実

「共働・共助」の理念のもと、また公益社団法人申請へ向けた組織改編に伴い親睦会に代わる親睦委員会を設置し、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図る。

(1) ボランティア活動の実施

(2) グラウンドゴルフ大会の開催

(3) 一泊研修旅行の実施

(4) 義士祭奉賛行事の開催

(5) サークル活動の育成

(6) 地域班、職群班の体制強化と自主的な事業推進

### 6. 適正就業の推進

多様な働き方の選択肢を確保し、適正就業を推進するため、兵庫県シルバー人材センター協会が行う一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の赤穂市事務所の取り組みを進める。

### 7. 公益法人制度改革に伴う新制度への移行対応

公益法人制度改革関連3法の施行に伴い、県下の他センターとともに公益社団法人への平成24年4月移行をめざし、平成23年秋に移行認定申請ができるよう取り組む。

### 8. 財政基盤の確立

(1) 前年度に引き続き事務事業を見直し、経費の削減を図る。

(2) 財源確保を図るため、機械器具等の使用料の改定並びに事務費率の見直しの検討を行う。

9. 法人としての事業

定款に定められた総会、理事会等を開催する。